エコアクション21

環境経営レポート

運用期間　　2024年3月～2025年２月

作成日:2025年３月28日

有限会社　三浦タイヤ商会

事業の概要(1)

（1） 事業者名 有限会社 三浦タイヤ商会
代表取締役　　三浦 一也

（2） 所在地 〒870-0108
大分県大分市三佐6丁目1番31号

(3)環境保全関係の担当者連絡先
環境管理責任者 ： 三浦 一也
EA21事務局 担当者
三浦一也
連絡先　TEL　097-527-4895
FAX　097-527-7475

(4)事業規模 社員数 4人　　（2025年3月31日現在）

(5)事業内容 ①産業用・自動車用各種タイヤの卸売・小売業
②各種自動車関連用品の卸売・小売業
③出張タイヤ交換・パンク修理等ロードサービス業務
④自動車車検整備・自動車用保険代行業務

(6)設立　　平成17年3月

(7)資本金　300万

(8)会計年度 期首:3月 期末:2月

(9)事業規模

活動規模	単 位	2023年度	2023年度	2025年度
売上高	百万円	124	134	
従業員	人	4	4	4

環境経営方針

企業理念

有限会社三浦タイヤ商会は、かけがえのない地球環境の保護の重要性を認識し、環境にやさしいクリーンで安全な商品、サービスを積極的に提供することにより、豊かな地域社会の未来づくりに貢献するとともに、社会の発展に貢献してまいります。

環境方針

1. 自動車用タイヤ、産業用タイヤの販売において環境（低燃費）タイヤを中心としたエコ対応商品を積極的に販売し、環境負荷の低減に努めます。

2. CO_2 排出削減の為、電力消費、車両燃料の効率改善に努めます。

3. リデュース・リユース・リサイクルの推進に努め、産業廃棄物排出量の削減、再資源化に努めます。

4. 事務所および工場での節水に努めます。

5. 環境に配慮したグリーン商品の購入に努めます。

6 .化学物質は、適切に管理します。

7. 事業に関係する環境関連法規を遵守します。

8. 全社員が環境経営方針を理解し、各自がそれを周知して行動できる様、社員教育を計画的に実施し、環境に関する意識を向上させて、環境経営の継続的改善に努めます。

～この環境経営方針は、社内外に公表します～

制定年月日　2012年12月1日
更新年月日　2023年4月10日

有限会社　三浦タイヤ商会

代表取締役　　三浦　一也

エコアクション21推進体制
組織図・権限と責務

有限会社三浦タイヤ商会

権限と責務

代表者
代表取締役　三浦一也

1　経営における課題とチャンスの確認
2　環境経営方針の策定、更新
3　環境関連法規のとりまとめ、遵守管理
4　外部コミュニケーションへの対応窓口
5　環境上の緊急事態の想定と訓練実施

環境管理責任者
代表取締役　三浦一也

1　環境マネジメントシステムの構築・運用・維持
2　環境経営目標の策定及び進捗管理
3　環境経営計画の策定と活動実施管理
4　環境コミュニケーションの受付
5　環境マネジメントシステムの構築・運用・維持
6　環境教育、社内コミュニケーションの推進
7　環境経営レポートの作成
8　環境経営計画の実施
9　環境経営に関する提案
10　環境関連法規の遵守
11　職場環境の改善（5S活動継続）

環境負荷の実績推移

項目	項目		環境負荷の実績（2024年度～2025年度）		
			2023年度 （令和4年3月～ 令和5年2月）	2024年度 （令和5年3月～ 令和6年2月）	2025年度 （令和6年3月～ 令和7年2月）
1	二酸化炭素総排出量		17,779 kg-CO_2	16,827 kg-CO_2	16,028 kg-CO_2
1-1	電気使用量	事務所	2,892	2,784	3,335
		工場	3,303	2,422	2,480
	単位：kWh	合計	6,195	5,206	5,815
1-2	ガソリン使用量 単位：ℓ		1,080	1,112	1,024
1-3	軽油使用量 単位：ℓ		4,808	4,588	4,248
1-4	灯油使用量　※ 単位：ℓ		72	72	0
2	産業廃棄物排出量　※※ 単位：kg		100,570	35,920	39,970
3	水使用量 単位：㎥		54	44	41

※灯油は、削減目標対象ではありません。（2025年より灯油ストーブは使用しなくなりました。）

※※　産業廃棄物には、再資源化のための有価売却物を含みます。

注　電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度九州電力　調整後排出係数0．463を使用した。

環境経営目標　　（2024年度～2026年度）

項目	項目	環境経営目標		
		2024年度 （令和5年3月～ 令和6年2月）	2025年度 （令和6年3月～ 令和7年2月）	2026年度 （令和7年3月～ 令和8年2月）
1	二酸化炭素 排出量の削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
	※灯油を除く　（灯油は、少量かつ健康管理のため削減目標対象には含まない）			
1-1	電気使用量 の削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-2	ガソリン使用量 の削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
1-3	軽油使用量 の削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減	前年度実績 の1%削減
2	産業廃棄物の 再資源化	リサイクル率100% の維持	リサイクル率100% の維持	リサイクル率100% の維持
3	水使用量の 節約	水資源の有効活用 の推進	水資源の有効活用 の推進	水資源の有効活用 の推進
4	グリーン購入 の推進 （環境配慮商品の購入・販売推進）	中古部品、環境配慮商品の顧客提案推進 エコマーク事務用品の優先購入	中古部品、環境配慮商品の顧客提案推進 エコマーク事務用品の優先購入	中古部品、環境配慮商品の顧客提案推進 エコマーク事務用品の優先購入
5	化学物質の適切な管理	化学物質の適切な取扱いと管理推進	化学物質の適切な取扱いと管理推進	化学物質の適切な取扱いと管理推進
6	地域との共存 クリーン作戦	地域清掃活動の推進	地域清掃活動の推進	地域清掃活動の推進

注　電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度九州電力　調整後排出係数０．４６３を使用した。

環境経営計画

環境経営目標期間の環境経営計画　及び　2025年度の実績評価

評価基準:　　○:できた　　△:できたが改善の余地あり　　×:できなかった

環境経営目標関連項目	推進責任者	環境経営計画 （具体的な活動計画）	2025年度活動評価	
			事務所	現場
電気使用量の削減	三浦一也 社員　①	昼休みの消灯（毎日）	○	○
		使用時以外のトイレ、会議室の消灯（毎日）	○	○
		冷暖房設定温度の厳守（毎日）	○	
		OA機器の退社時の電源オフ（毎日）	○	○
		空調機フィルターの定期的清掃（6月、12月）	○	
		省エネステッカーによる目で見る周知（毎日）	○	○
		日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（6月～10月）	○	○
ガソリン・軽油使用量の削減	三浦一也 社員　①	アイドリングストップの推進（毎日）	○	○
		経済運転の推進（急発進、急停止の禁止）（毎日）	△	○
		法定速度の遵守（毎日）	△	○
		車両の相乗りの推進（毎日）	○	○
		車両点検の実施　（毎日）		○
		省資源化ステッカーによる目で見る周知（毎日）	○	○
産業廃棄物100%再資源化継続 （一般廃棄物の適正管理を含む）	三浦一也 社員　②	社内情報のペーパーレス化（適時） （社内メール、掲示板の活用）	○	
		ゴミの分別の徹底（毎日）	○	○
		ゴミ分別、リサイクル等のステッカーによる周知（毎日）	○	○
		産業廃棄物の分別（適時）		○
	三浦一也 社員　②	リサイクル、再資源化の推進（毎日）	○	○
		産業廃棄物置場の適正な管理（毎日）		○
		水使用量の把握（計画を立てる）	○	
水の使用量節約	三浦一也 社員②	節水の推進（毎日）	○	○
		節水ステッカーによる目で見る周知（毎日）	○	
		水系への環境負荷物質の漏洩防止（毎日）	○	○
		雨水の確認と管理	○	○
グリーン購入の促進 （顧客の環境啓発・事務用品調達）	三浦一也	再生紙の購入推進（購入時）	○	
		リサイクル製品の購入推進（購入時）	○	
		詰め替え可能な製品の購入推進（購入時）	○	
		地球環境に配慮した商品の販売促進（適時）		○
	三浦一也	地球環境に配慮した商品の顧客への啓発（適時）		○
		環境配慮製品設計の推進（適時）		○
		自治体への環境配慮の提案（適時）		○
		整理整頓の実施（毎日）		○
化学物質の適切な管理	三浦一也 社員　②	漏洩時の対応、処置方法の教育（適時）		○
		SDSの取り寄せと内容の理解（適時）		○
		環境法規の実施（適時）		○
		保管量の確認（随時）	○	○
地域との共存 クリーン作戦	三浦一也 社員　①	地域清掃の実施（適時）	○	○
		職場や駐車スペースの清掃（毎日）	○	○
		環境に関する地域事業の支援	○	
		ECOイベントへの参加、協賛	○	

環境経営目標実績と評価及び今後の取組方針

運用期間:2024年3月～2025年2月

灯油を含む、当運用期間の二酸化炭素総排出量:　16,028 kg-CO2　（今年度は灯油使用量はなかった。）

項目	基準年(前年度)実績	目標値(基準比1%削減)	実績	達成度
二酸化炭素排出量削減	16,827 kg-CO2	17,424 kg-CO2	16,028 kg-CO2	108.7%
電気使用量削減	5,206 kWh	6,071 kWh	5,815 kWh	104.4%
ガソリン使用量削減	1,112 ℓ	1,058 ℓ	1,024 ℓ	103.3%
軽油使用量削減	4,760 ℓ	4,588 ℓ	4,248 ℓ	108.0%

注　電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度九州電力　調整後排出係数0．463を使用した。
　　二酸化炭素排出量の基準年度、目標値、実績は、灯油を含まない

【実績評価】 二酸化炭素排出量は、全体としては目標を達成できた。
電力は、事務所の比率が少し高く、昼間は不要個所の消灯、エアコンは自然の風をできるだけ利用したが年々気候の変化が大きく電気使用量が多くなった。
工場は、ほぼ安定しており、作業安全を前提として必要な個所に限定して照明点灯を徹底させている。
事務所、工場共に前期より微増で目標未達となったが、年々来店客が多くなりエアコンと換気の併用などが要因と思われる。
燃料は、来店と訪問のバランスが影響する。経済運行ルートの選択による走行距離短縮、ECO運転は継続している。

【今後の取組方針】
健康と安全を優先しながらも、無理、無駄の徹底排除、効率改善に全員でチャレンジを継続していく。

効率管理目標課題	前期	目標	成果	評価
産業廃棄物の再資源化 リサイクル100%維持	100%	リサイクル率100% の維持	リサイクル率100% を維持できた	達成

【実績評価】 一廃、産廃の再資源化を促進するために、分別管理を徹底した。廃油は、有価売却で再資源化を継続した。.
廃タイヤは、収集運搬車両により中間処理事業者に持ち込み、セメント原料などとしてリサイクルに供している。

【今後の取組方針】
分別管理の徹底を継続、定着化する。全員の努力と工夫が、リサイクルを促進するパワーである。
廃バッテリーは、少量であるため備蓄保管している。有価売却は難しくなったが、再資源化に引き続き努めていく。

水使用量の節約	節水管理	水の有効活用推進	節水活動は実施できた	結果として数量が増えたのは今後の課題である

【実績評価】 水道使用量は、前年度を微量であるが下回った回った。(前期 44㎥　、今期　41㎥)
全員で目標達成に向け頑張った成果が使用利用の減少につながった。

【今後の取組方針】
清掃の水も、雨水を活用するなど、全社員で工夫していく。
日常業務の中で、無駄な使用がないか、全員で相互確認しながら節水努力を数値に反映できるようになった。

グリーン購入(顧客対応)	中古部品、環境配慮製品、サービスの提案	お客様に対して、中古部品やエコタイヤ、チッソ充填などの提案、環境配慮の啓発に努める	来店客、訪問先での顧客相談に、環境面の配慮をお奨めする	適切に対応できた。 新たな提案ができるよう、メーカなどから最新情報を入手していく

【実績評価】 中古部品はお客様にも大きなメリットがあり、再資源化推進にも寄与する。
エコタイヤの推奨、タイヤメーカーと連携したチッソ充填のお奨めなど、お客様の理解が進むよう、啓発に努めてきた。

【今後の取組方針】
タイヤ専門業者として、正確な情報に基づいて、顧客へのサービス、啓発に努めていく。
当社の環境経営方針、企業理念をしっかり理解して、地球環境に配慮した事業活動を全員で継続する。

グリーン購入(社内対応)	エコマーク商品の選択	事務用品の発注時には、エコマーク商品をできるだけ優先する	事務用品の購入時には、エコマーク商品であることを確認して発注した。	適切に対応できた。 今後も継続する。

【実績評価】 事務用品は、エコマーク商品を優先的に選択している。数量は、多くないが、ECO商品の市場拡大に貢献する。

【今後の取組方針】 2017年版ガイドラインでは、自由選択となったが、目標として維持し、積極的に取組んでいく。
環境に優しい製品、サービスを提供するとともに、調達面でも循環型社会にできるたけ貢献して継続する。

化学物質の適切な管理	溶剤、パンク補修剤を適切に保管し、取扱う	取扱い、保管は、適切に行う。 SDSを常備し、作業者に周知する。	保管量、状態は、毎月末にチェックし、適切であることを確認した。	パンク補修剤は、少量でありPRTR法適用外である。シンナーは、微量であるが、適切な管理を行った。今後も継続する。

【実績評価】 化学物質は、車両等の汚れ落とし等に、シンナーを少量使用している。労働安全衛生法の社員教育を実施している。
パンク補修剤は、石油系溶剤をわずかに含んでいるが、労安法、化管法には該当しないことを確認している。

【今後の取組方針】
少量ではあっても、取扱い及び保管には、万全を期す。

地域との共存 クリーン作戦	清掃活動の推進	環境経営計画に基づいて、積極的な美化活動を進める	毎月1回の地域美化清掃、毎日の職場清掃、ECOイベント協賛、支援を行った	当社の規模、体制に見合った地域との協働、クリーン作戦推進ができた。

【実績評価】 地域とのコミュニケーションを図り、環境保全への貢献を積極的に実行た。
社員の環境意識向上にも役立ち、地域社会から評価いただくことが、次のステップになる。

【今後の取組方針】
効果的な活動や毎日の清掃など、目的と手段を工夫しながら積極的に取組んでいく。。

環境法規制登録表

作成日：2025年3月28日

作成者：　三浦　一也
承認者：　三浦幸恵

遵守評価日：　2025年3月31日

法規制等	適用内容	対象設備、施設	遵守事項 （法規制/自主規制）	記録類	遵守評価	コメント
廃棄物処理法	産業廃棄物の 適切な管理	産業廃棄物	（法規制） 1.産業廃棄物置場の表示 2,マニフェスト伝票の管理 3.委託契約書、処理業許可証の管理 4.委託業者への適切な処理の委託 5.管理表交付状況報告書の提出（大分市役所） 6.分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	 表示 マニフェスト伝票 委託契約書 領収書 報告書	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	
	廃タイヤの適切な 管理	産業廃棄物対象廃タイヤ （業務用自動車の廃タイヤ	（法規制） 1.産業廃棄物収集運搬業の許可取得と遵守 2.積み替え保管の許認可の取得 3.収集運搬時の表示とマニフェスト伝票携帯	 許可証 許可証 産廃運搬表示	 ○ ○ ○	
	一般廃棄物の 適切な管理	一般廃棄物	1.委託業者への適切な処理の委託 2.分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	領収書	○	
古物営業法	古物商品の適切な 営業	中古部品 再生部品	（法規制） 1.都道府県公安委員会の許可取得 2.適切な営業措置の実施	 許可証	 ○ ○	
家電リサイクル法 PCリサイクル法	特定家電,PC類の 適切な廃棄	テレビ、 家庭用エアコン パソコン類	（法規制） 1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時、適切な業者への依頼	 リサイクル券 領収書	 ○ ○	 今期該当なし 今期該当なし
自動車リサイクル法	公用車の適切な 廃棄	公用車	（法規制） 1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時、適切な業者への依頼	 リサイクル券 領収書	 ○ ○	 今期該当なし 今期該当なし
騒音規制法	コンプレッサー 騒音防止	コンプレッサー 原動機：7.5KW以上	（法規制） 1.特定施設設置（使用）届出（市役所又は保健所） （自主規制） 1.異常音発生時の停止、修理	 届出書	 ○ ○	 今期該当なし
消防法	危険物の 適切な管理	オイル類	（法規制） 指定数量の1/5以下での保管 アルコール類：80リットル以下 第2石油類：200リットル以下 第3石油類：400リットル以下 第4石油類：1200リットル以下（オイル類）		 ○ ○ ○ ○ ○	 該当なし 該当なし 該当なし

遵守評価の結果
1. 遵守評価の結果、環境法規遵守に問題点は無く、違反の恐れは無かった。
2. 関係当局からの指導や指摘、処分は過去5年間以上無い。
3. 苦情や訴訟は無かった。

代 表 者 に よ る 全 体 の 評 価 と 見 直 し

実施日：2025年3月28日

代表取締役　　三浦　一也

1．全体の評価

No.	評　価　事　項	代 表 者 指 示 事 項
1	環境関連法規等の遵守状況 遵守評価により、適切な管理を行っていることが確認できた。 関係当局の指導や訴訟もなかった。	メーカー情報やネットを活用して、法令の最新情報入手に努めること。 一覧表に基づいて確実に遵守確認を行うこと。
2	環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況 ①数値目標は、全体として達成できた。 ②管理目標についても、概ね順調であった。 節水は、活動はできたが使用量が増加した。	来店客と出張作業サービスのバランスが負荷に影響している。 お客様への安全安心サービスを引き続き優先させる。 水は、雨水利用の強化と、無駄な使用を相互に再確認しながら目標対象ではないが、数量管理をしっかり行うこと。 タイヤ専門業者として、環境に配慮した事業活動に努める。
3	実施体制	全員参加の体制を維持していく。 気づいたことは、ミーティングの場で共有できており、相互指摘により継続的改善を進めて行く。
4	環境に関する苦情や要望対応状況 苦情・要望などは発生していない。	お客様や地域の期待に応えていくために、苦情や要望に限らずコミュニケーションを引き続きしっかり保っていく。
5	是正処置、予防処置について 環境経営目標、環境経営計画の実施状況は、概ね順調であった。	常に問題意識を持って、業務に励んでもらいたい。 問題点が見出されれば、全員共有し、速やかに改善処置を講じる
6	前回の代表者の指示事項への対応	2017年版ガイドラインへの基本的対応は、整った。 環境経営目標の策定については、今後の検討課題とする。
7	その他指示事項	特になし

2．全 体 の 評 価 と 見 直 し

全 体 の 評 価

会社全体で、エコアクション21への取組みを進めていく中で、社長が率先する中、継続的な改善に努めてきた。コミュニケーションをしっかりとりながら活動を進めることで、社員の環境意識も向上し、お客様へのサービス、安全作業にも反映させることを期待している。
安全面や技術、顧客サービス面では厳しい目で、効率改善や環境配慮、地域社会貢献は、全員の知恵と工夫で前進させるよう、社内のコミュニケーションは、引き続き大切にしていく。
2017年版ガイドラインに沿って、効率改善、社会との連携強化につながる取組みを強化していく。
2025年度は、環境経営目標、環境経営計画およびEA21の実施体制は継続する。

環境取組の紹介（1）

地域に密着した環境活動の展開

エコアクション21に取組むに当たり、地域とのコミュニケーションを重視し、
地域に密着したエコ活動を展開するために環境活動に取組みました。
平成23年11月17日に大分県が推進する「エコおおいた」に、平成24年1月13日
に大分市が推進する「エコショップ」に認定されました。

水資源の有効活用

大分県は日本有数の豊富できれいな水資源に恵まれています。
県民の安心・安全の源でもあります。この貴重な水資源を少しでも大切に
使用するために雨水を利用して、水の無駄使い防止に取組んでいます。

環境取組の紹介（2）

環境活動の基本を大切に

環境活動に限らず、安全、業務の効率、顧客サービスなどすべてにおいて整理、整頓、清掃は基本です。エコアクション21取組みを機に再度、整理整頓を実施し、清掃を徹底しています。

未来の子供たちのために

「ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンをとどけよう」という活動を知りました。キャップ800個でポリオワクチン1人分に当たり、子供の命子供の命救うことができるとのことです。
少しでも見知らぬ国の子どもたちの役に立ちたいと思い立ち、地域の方々にも呼び掛けて収集しています。

J1大分トリニータ（LOVE大分）選手とともに、

地域貢献、エコ活動を取り組んでいます。

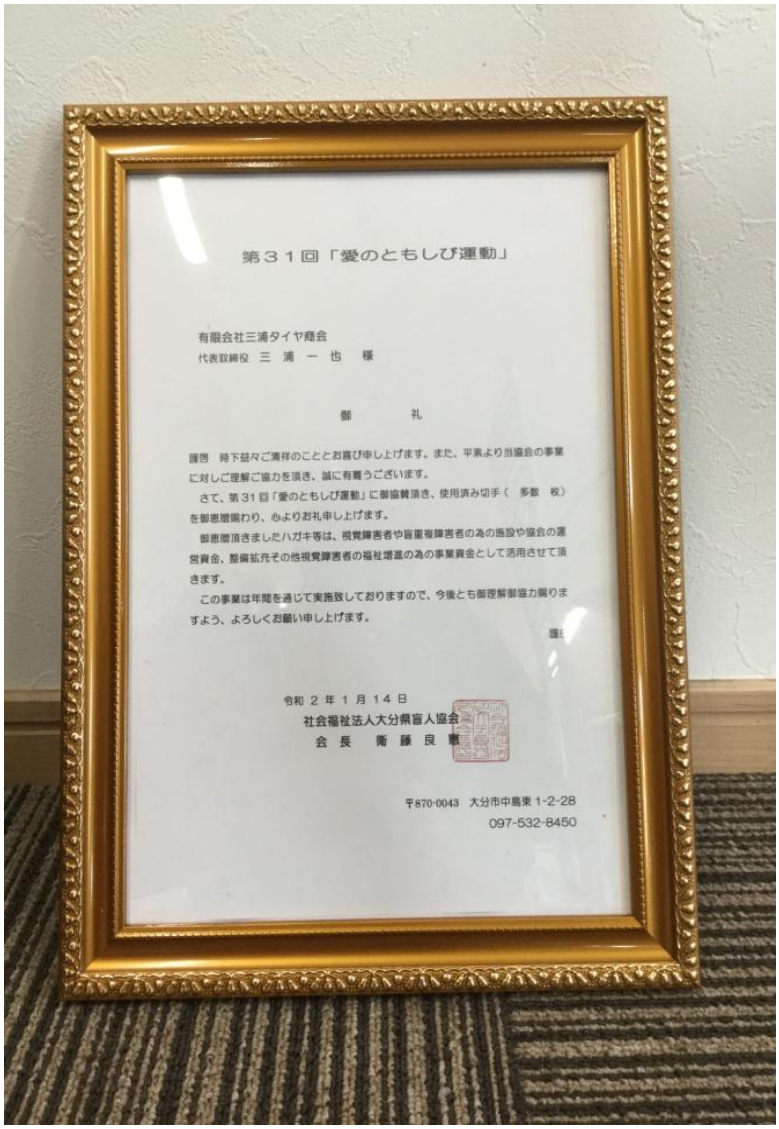
感謝状

有限会社三浦タイヤ商会
代表取締役　三浦　一也　殿

貴社は交通遺児等の激励援護のため多額の御寄付をされ交通事故遺児等救済援護事業の推進に寄与されましたので深く感謝の意を表します

平成二十八年十二月二十七日

大分県交通安全推進協議会長
大分県知事　広瀬　勝貞



第３１回「愛のともしび運動」

有限会社三浦タイヤ商会
代表取締役　三　浦　一　也　様

御　　礼

謹啓　時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より当協会の事業に対しご理解ご協力を頂き、誠に有難うございます。

さて、第31回「愛のともしび運動」に御協賛頂き、使用済み切手（　多数　枚）を御恵贈賜わり、心よりお礼申し上げます。

御恵贈頂きましたハガキ等は、視覚障害者や盲重複障害者の為の施設や協会の運営資金、整備拡充その他視覚障害者の福祉増進の為の事業資金として活用させて頂きます。

この事業は年間を通じて実施致しておりますので、今後とも御理解御協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

令和　２　年　１　月　１４　日
社会福祉法人大分県盲人協会
会　長　衛　藤　良　勲

〒870-0043　大分市中島東 1-2-28
097-532-8450